

ちなんて毎年この時期に追悼展を開催している。

会場に展示されている「海援隊日記」(複製)は、1928年に酢屋の屋根裏から見つかった隊士が残した記録で、龍馬暗殺時の様

都。講師は神月紀輔・京都ノートルダム女子大教授。無料。先着200人。7日までに氏名、所属、電話番号を明記し、府男女共同参画課フアックス

子どもが詳細に書かれていた。龍馬が使ったと伝わるたばこ盆や、

大会。秋の夜のおたのしみ会4日後6時、東山図書館(541)5455。素話とさまざまな笛の演

主催で、京都大の武田時昌教授は「医心方には古代人の知恵が詰まっている。見直すことで、多様でより良い医療文化を築くきっかけになれば」と話す。3日まで。午前10時〜午後5時。無料。(峰政博)



「医心方」の復刻本や現代語訳の本などが展示されている会場(京都市上京区・護王神社護王会館)

医療歴史の資料ずらり 上京でサロン展

医療の歴史資料を展示する「医療文化史サロン展」が1日、京都市上京区烏丸通下長者町下ルの護王神社護王会館で始まった。日本最古の医学書「医心方」の復刻本など約60点が並び、現在にもつながる医療の源流や病と向かい合ってきた人々を伝えている。

医心方は平安期の医者だった丹波康頼が編み、朝廷に献上した。中国の紀元前から唐の時代までの医学書などを基に、治療法や薬の処方などを詳細に記している。

江戸末期に京都で天然痘の予防接種に取り組んだ日野鼎哉を解説するパネルなどがあ

ある和気清麻呂の子孫で、医心方の古写本を現在に残した半井家の家系図もある。江戸末期に京都で天然痘の予防接種に取り組んだ日野鼎哉を解説するパネルなどがあ

住居の耐震化補助制度解説

きょうあす上京

住居の耐震化を呼びかける「耐震セミナー」が2、3日に、京都市

上京区今出川通室町西

入ルの上京区役所で開

かれる。地震への備え

が必要とされる中、ど

こから手を付けるべき

か悩んでいる市民が多

いことから、区役所と

京安心すまいセンター

が企画した。

2日は午後6〜9時

で、市が実施する耐震

化の補助制度などを解

説する。

3日は午後6〜9時

で、市が実施する耐震

化の補助制度などを解

説する。